

2013年5月号

5月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 200



大荒れの大型連休…

北海道各地で雪が降り、例年になく寒さで春が足踏み状態の大型連休でした。ここ温根内でも、訪れる方々がビジターセンターに入ると、「あったかい！」と思わず声に出すほど寒い日が続きました。本州からの旅行者にとって、ある意味忘れられない北海道旅行になったのではないのでしょうか？

一見何もないように見えるこの季節の釧路湿原ですが、少しずつ春はやってきています。花や鳥の子育てなどで賑やかになる前の静かな湿原で春を探すのも楽しいものです。

～温根内ビジターセンター木道周辺の自然情報～



【エソエンゴサク】
 ケシ科 漢字：蝦夷延胡索
 北海道の早春を代表する花。高さ 15～20cm 程の多年草。温根内周辺では鶴居軌道跡沿いの斜面で見られます。



【エンコウソウ】
 キンポウゲ科
 漢字：猿猴草
 温根内周辺ではハンノキ林内と鶴居軌道跡沿いで見られます。エゾノリュウキンカと比べて小型で地面を這いながら長く伸びます。5/3 によやく咲きました。



【ワタスゲ】
 カヤツリグサ科 漢字：綿菅
 湿原の夏の風景を代表するワタスゲも、花の時期は小さくて目立ちません。花の後に白い綿毛状になり、種子を運びます。温根内周辺ではミズゴケ湿原で咲いています。



【エソアカガエル】
 アカガエル科
 温根内周辺で初鳴きを確認したのは4月10日でした。その後卵を産み、現在は無数のおたまじゃくしを見ることができます。

○温根内木道周辺で確認された花（4月15日～5月14日）

- アキタブキ（フキノトウ） ■エソエンゴサク ■エソネコノメソウ ■エンコウソウ ■オオバナノエンレイソウ
- キヌヤナギ ■セイヨウタンポポ ■タチヤナギ ■ナガバヤナギ ■ネコノメソウ ■バッコヤナギ ■ヤチヤナギ
- ワタスゲ

○その他の自然情報

- エソアカガエル

産卵を終え、姿を見つけることが難しくなりました。現在は木道周辺でたくさんのおたまじゃくしを観察できます。

- タヌキモの芽（タヌキの尻尾みたいですよ） ■エソシカ ■アメリカミンク ■クジャクチョウ

* 表紙の写真 上：ホロムイツツジ 右下：やちぼうす 左下：オオジュリン

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

○夏鳥がやってきました！

木々が芽吹く前の今は、葉っぱで鳥が隠れないので野鳥観察をするには絶好の時期です。

※ビジターセンターでは双眼鏡の貸し出しを行っているので、お気軽にご利用ください（貸し出し無料）。



【アオジ】 ホオジロ科
北海道では夏鳥で、春になると繁殖のために釧路湿原にやってきます。温根内周辺では最もよく見る鳥の一つで、ハンノキ

の枝に止まってきれいな声でさえずっています。地上近くに枯草でお椀型の巣を作ります。全長 16 センチ



【ノビタキ】 ヒタキ科
春になると繁殖のために釧路湿原にやってきます。ヨシ・スゲ湿原の枯れヨシの先などに止まって柔らかい声でさえずります。

温根内周辺では見通しの良いヨシ・スゲ湿原で見られるので、とても見つけやすい鳥です。全長 13 センチ

○温根内周辺に一年中いる鳥たち（留鳥）



【ゴジュウカラ】
ゴジュウカラ科
本州では山地で生息していますが、北海道では平地で普通に見られる鳥です。体が小さい割にはと

ても大きく力強い声で「フィーフィー」とさえずります。全長 15 センチ



【コゲラ】 キツツキ科
温根内周辺では鶴居軌道跡沿いの林の中でよく見られます。キツツキ類は両足でしっかりと木につかまり、尾羽で体を支えるので、とても安定した体勢で木を突き、中にいる昆虫の幼虫などを捕えます。全長 15 センチ

るので、とても安定した体勢で木を突き、中にいる昆虫の幼虫などを捕えます。全長 15 センチ

○温根内木道周辺で観察された鳥（4月15日～5月14日）

- アオサギ ■オオハクチョウ（上空を通過） ■マガン（上空を通過） ■ヒシクイ（上空を通過） ■マガモ
- タンチョウ ■オオジギ（4/21 初認） ■トビ ■オオワシ（若鳥、北へ帰る途中） ■オジロワシ（若鳥）
- ハイタカ ■キジバト（4/26 初認） ■アリスイ（4/26 初認） ■コゲラ ■オオアカゲラ ■アカゲラ
- ハクセキレイ ■ピンズイ（5/10 初認） ■ヒヨドリ ■ルリビタキ（♀、旅の途中） ■ノビタキ（4/21 初認）
- クロツグミ（5/11 初認） ■アカハラ ■ツグミ ■ヤブサメ（5/11 初認） ■ウグイス（4/30 初鳴き）
- エゾムシクイ（5/4 初認） ■センダイムシクイ（5/9 初認） ■シマエナガ ■シジュウカラ ■ハシブトガラ
- ヒガラ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■アオジ（4/18 初認） ■オオジュリン（4/10 初認） ■カワラヒワ
- ベニマシコ ■ニューナイスズメ（5/11 初認） ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフにおたずねください。

○タヌキモの芽 【タヌキモ】 タヌキモ科 狸藻



夏の温根内木道の人気者といえば食虫植物のタヌキモです。この人気者が冬から春にかけてどんな姿をしているのか、知っている人は意外と少ないはず。湿原の氷が解けると、水中には緑色の何かのフンのような

玉がたくさん浮かんでいるのを見かけます。これがタヌキモの冬芽です。水温が上がるにつれて、玉がほぐれ、だんだんとタヌキの尻尾のように変わります。一番右の写真ではよく見ると捕虫囊（ほちゅうのう）もでき

始めています。これから更に茎や葉を伸ばし、7月には黄色いきれいな花を咲かせます。まだまだ花の少ない釧路湿原ですが、よく見ると目立たないところでいろいろな春を感じることができます。

☆☆☆☆自然ふれあい行事「春の湿花ハイク」が開催されました☆☆☆☆



5月12日(日)に自然ふれあい行事「春の湿原のハイク」が開催されました。釧路湿原パークボランティアの高嶋氏の案内で春の温根内木道を楽しみました。当日は寒い中(気温6℃!)での観察会になりましたが、ヤナギの見分け方や雌雄異株の話、アキタブキの雄株雌株の見分け方、湿原内の植物(ハンノキ、スゲ類、これから咲く花など)についての話に参加者は興味深く聞き入っていました。また、ミスゴケ湿原で咲いていたワタスゲの花を見た際には、お馴染みの白い綿毛の頃が花であると思っていた参加者がほとんどで、とても驚いている様子でした。

☆☆☆☆☆☆☆☆イベントのご案内(6月)☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

*事前の申し込みが必要です

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込みはこちらまで ☎0154-65-2323

♪春の湿原花ハイク

〔日時〕6月9日(日) 10:00~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

湿原の花の種類も増えてくるこの季節。ゆっくりと春の花を楽しみながら歩きます。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで ☎015-487-3003

♪新緑の湿原バードウォッチング

〔日時〕6月8日(土) 10:00~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔場所〕シラルト口湖 蝶の森

湿原周辺の夏鳥が揃ってくる頃です。新緑の中バードウォッチングを楽しみます。

~温根内木道を歩く方へのお願い~



最近温根内木道の周辺では特定外来生物のアメリカミンクが頻繁に目撃されています。アメリカミンクは好奇心が旺盛で、近づいても逃げない場合があります。噛まれてケガをしたり、感染症や寄生虫を媒介する可能性もありますので、決して触らないでください。また、野生動物ですので、絶対にエサを与えたりしないようお願いいたします。

【アメリカミンク】ネコ目イタチ科 特定外来生物
北米原産。養殖場からの脱走等が野生化し繁殖。

~お知らせ~

諸事情によりしばらくお休みしておりましたが、今月より「月刊温根内通信」を再開します。温根内周辺の旬の情報や湿原の豆知識などをわかりやすく発信していきたいと思っております。

また、3月をもちまして指導員の若山公一が定年退職いたしました。4月からは私、本藤泰朗が新しく指導員を務めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

月刊 温根内通信 No.200

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00~17:00(11月~3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(夏季繁忙期を除く) 入館無料